



しんしゅう
新編



海士 位田 居

る

は方そなたとらと日月のく都

のあにきん あき かりはらり

ひもしりく あき せむの

や福のいゆり あき ぬさるる

と あき 我よりなりぬとら

早
いふはるの行よもしこやまのの

はましくはなれぬあつとくは

あふまうあやめはにちるまて

人まりのほはのとはまらして

このよりのいしとくはくはるひ

わの海すのては 早わはるの

すじはよあひ 早おのく

紋 早あ 早ん 早あ 早の

ぞ 早ら 早ひ 早た 早ん 早あ 早ま

里 早の 早人 早く 早あ 早や 早あ

も 早れ 早あ 早は 早ら 早あ 早ら 早れ

あ 早し 早ま 早ら 早は 早秋 早の 早風 早あ

みあつとりしあはれ入んか

振つゝあつとりのそあはれあはれ我

はあつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

あつとりのそあはれあはれあはれ

皇

皇

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

しんがうのしんがうのしんがうのしんがう

しんがうのしんがうのしんがうのしんがう
見しんがうのしんがうのしんがうのしんがう

あやうき女よ後へ道へひらきぬ
三

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

あやうき女よ後へ道へひらきぬ

あやうき女

おぼろげなる夢の如き人の心

とてゆく今も房の如く人長をせ

があはれ社よこし人長よあは

つたあはれ人やれどあはれ人

が何れかやとてははれをるる

はあはれに相成るるをては

はあはれに相成るるをては

はあはれに相成るるをては

はあはれに相成るるをては

はあはれに相成るるをては

はあはれに相成るるをては

はあはれに相成るるをては

海

Handwritten text in cursive script, first line on the left page.

Handwritten text in cursive script, second line on the left page.

Handwritten text in cursive script, third line on the left page.

Handwritten text in cursive script, fourth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, fifth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, sixth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, seventh line on the left page.

Handwritten text in cursive script, eighth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, ninth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, tenth line on the left page.

Handwritten text in cursive script, eleventh line on the left page.

Handwritten text in cursive script, twelfth line on the left page.

Small handwritten mark or character on the left margin.

Small handwritten mark or character on the left margin.

Small handwritten mark or character on the right margin.

Small handwritten mark or character on the right margin.

Small handwritten mark or character on the right margin.

二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

海江

十六

いかに龍神くくまやうきなる那れ
ゆやがしといの地用としてく
天龍八神人よひあんがらひ
女成仏母社さん志うま
毎のいこうてうがれあひは法
思れきいしご成といなる

甲子

水正 曲出二拍子
佐早強 居

まの法圃一見れ僧とて我
の程の初よんひくらやれ
やゆりなしくおうまめらりて
アと初よまよもやとあひ
雲のまられ御らあおる

後

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is written across multiple lines on both pages of the open book. Red ink is used for certain characters and accents throughout the writing.

大
好

と社ありては...
と社ありては...
と社ありては...

早稲

又あはれ...
又あはれ...
又あはれ...

のまよ...
のまよ...
のまよ...

れ川...
れ川...
れ川...

ま...
ま...
ま...

う...
う...
う...

あ...
あ...
あ...

か...
か...
か...

名...
名...
名...

ふ...
ふ...
ふ...

と...
と...
と...

女

AN

素心村へおもしろく遊ばせ給ふ

^{丸き}玉の輝きに似たりしは

あふは海に流れてはわたりて

おののけはかたはらにあらむ

たのむはかたはらにあらむ

たのむはかたはらにあらむ

たのむはかたはらにあらむ

たのむはかたはらにあらむ

たのむはかたはらにあらむ

たのむはかたはらにあらむ

たのむはかたはらにあらむ

たのむはかたはらにあらむ

しんせいのむらさきとみどり

いづれは日ごとくあはれ

ちかやうにせむらひあはれ

よそよあはれと後人のあはれ

のあはれよしとくまをありと

つらきあはれまひとあはれ

うさぎの中宿のまはら

からきくもむらさきあはれ

なやらのあはれとあはれ

まじりあはれとあはれ

あはれにまじりあはれ

あはれとあはれとあはれ

あはれなること ^上あはれなること ^下

くさくさなること ^上くさくさなること ^下

ぬるぬるなること ^上ぬるぬるなること ^下

まらまらなること ^上まらまらなること ^下

くさくさなること ^上くさくさなること ^下

あはれなること ^上あはれなること ^下

あはれなること ^上あはれなること ^下

あはれなること ^上あはれなること ^下

あはれなること ^上あはれなること ^下

あはれなること ^上あはれなること ^下

あはれなること ^上あはれなること ^下

あはれなること ^上あはれなること ^下

抄

凡そ如くもくはしきしつとてん
平見

いさかかふくの身とてんは
まはさか

さしゆしゆあつたもつた
しつ

しつとつる保之位のぞく
しつ

もしもしあまはしつとつ
しつ

しつとつあつたしつとつ
しつ

しつとつあつたしつとつ
しつ

しつとつあつたしつとつ
しつ

しつとつあつたしつとつ
しつ

しつとつあつたしつとつ
しつ

しつとつあつたしつとつ
しつ

しつとつあつたしつとつ
しつ

れ改

れ

早
 ありよありきりおのるを
 判
 のふしれおしお目せり
 法
 佛の法
 平
 平木大士の
 今
 早
 ありよありきりおのるを
 判
 のふしれおしお目せり
 法
 佛の法
 平
 平木大士の
 今
 早

下
南原に又を都へりてあはれなるて

か
のりてのりてのりてのりてのりて

海にのりてのりてのりてのりて

ふりてのりてのりてのりてのりて

のりてのりてのりてのりてのりて

のりてのりてのりてのりてのりて

のりてのりてのりてのりてのりて

のりてのりてのりてのりてのりて

のりてのりてのりてのりてのりて

のりてのりてのりてのりてのりて

のりてのりてのりてのりてのりて

のりてのりてのりてのりてのりて

まゝに... じのまふれた... なるして... よら... 海の人... ぬら... ぬら...

又歌

曲本... 位附 居

黒

まのうん... ぬら... ぬら... ぬら... ぬら... ぬら...

よましくらやとさひひ サレ ぬのうらぬよ
 らうきり者とくろは先がしきくきむ
 ぶがまれしやしれ夕有秋うらうを
 秋まのたじくされれ略とまひて
 きいりのましうらうあうまぐさあまの
 もりうらうらあまぐさあまらりああり
 もれは月やわぬ カ ちけぬかま
 ぶれおらうやある カ ちぬかま
 がひさひ カ ちぬかま カ ちぬかま
 もや又糸あ カ ちぬかま カ ちぬかま
 し カ ちぬかま カ ちぬかま カ ちぬかま
 きん カ ちぬかま カ ちぬかま カ ちぬかま

あしやとさひひ ぶらりのんち

くしやとさひひのちりやんち

かんぬらんれんちりやんち

いりしやとさひひのちりやんち

あしやとさひひのちりやんち

あしやとさひひのちりやんち

あしやとさひひのちりやんち

あしやとさひひのちりやんち

あしやとさひひのちりやんち

あしやとさひひのちりやんち

あしやとさひひのちりやんち

あしやとさひひのちりやんち

書
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一

は洗つたお湯をこぼさず
なほ湯のにおいも
入らずにすてかき
かき

^情いふもたがら女娃よ
もく

^情河津のくひそ ^早 柳葉は
く

そ ^女 色しとおふ
れあんとく

か ^女 ちあかたおふ
れあふれ

若くはれあら
れあふれ

又 ^女 ちあかたおふ
れあふれ

は ^女 ちあかたおふ
れあふれ

か ^女 ちあかたおふ
れあふれ

よ ^女 ちあかたおふ
れあふれ

たふのりふいひきりしはまはにりあ

ふいひきりしはまはにりあ

せよふいひきりしはまはにりあ

うせいふいひきりしはまはにりあ

ふいひきりしはまはにりあ

らふいひきりしはまはにりあ

よふいひきりしはまはにりあ

ひふいひきりしはまはにりあ

國の者ふいひきりしはまはにりあ

とふいひきりしはまはにりあ

ふいひきりしはまはにりあ

ふいひきりしはまはにりあ

録

一 女乃物鏡しういふりらんよきとらし

一 ころがあらはえりあさひをいふ

一 ひよんしんまめくまきんりやく

一 くるわいしおのほく人申いし

一 びんかんのまいたるすけのあ

一 さいふのすしやうすつちのまひ

一 しん泰しあしおよびしひあがす

一 へんりちちんあひまふさ

一 ひろく海がこれだしりよたてし御

一 くらまありあしむあめしあぬ

一 わらあつしあうらたのさだはた

一 さいふくわいさうたのろしんあ

一 さいふくわいさうたのろしんあ

一 見えしつるほろあらずるまゝに
 一 人れらうまゝにくまのこゝろに
 一 かりさのむすびとあはれし
 一 つのこゝろにわらなす
 一 甲一^中一^下一^一一^一一^一一^一一^一一^一一^一一^一
 一 たいひあはれらるるまゝに
 一 しいりめりむらさきいろに
 一 むすびよめるむらさきいろに
 一 ひとびとあはれらるるまゝに
 一 くりし目もくすくすして
 一 のまじりあはれおるひ
 一 色にそるしく風
 一 ひれいりくすくす
 一 一

くくわらうくくわらうくくわらう

ふふわらうくくわらうくくわらう

ははひひまひひまひひまひひまひ

ふふら江よびひひまひまひまひ

とと上上ううまままままままま

あえすあえすあえすあえすあえす

らひひととまままままままま

あひひととけけけけけけけけ

ののううははままののままひひ

つまののままかかまままままま

うあんのの福ふひるまままま

あえすあえすあえすあえすあえす

乃ありまのぞくあはれこころひたか
つ海んくらかきくこころひたか
縁れゆく風かひこころあをまら
よと雲れまらひもなや志の丹
あゝあのかにわらそとわけあはれ
ひく雲らまらひよあよるあ

わよし小町 曲出ニ推子
位用 居

むいへるさのわんよけなもあ
大酒をいひてあはれこころあ
あはれこころあはれこころあ
あはれこころあはれこころあ
あはれこころあはれこころあ

後集

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

あはれしもの國よりの

武

くろそ ぬいかにいひしやう

しんあつと たまひのこ

あしたのうらなひの目す

くろ ^一 ぬいかにいひしやう

あつと ^一 たまひのこ

あしたのうらなひの目す

くろ ^一 ぬいかにいひしやう

あつと ^一 たまひのこ

あしたのうらなひの目す

くろ ^一 ぬいかにいひしやう

あつと ^一 たまひのこ

あしたのうらなひの目す

武

四

てあはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

あはれきりしを今も花にまじりて

いぢりぢり上ニテいぢりぢり

あひひいぢりぢりあひひいぢりぢり

のたぬいぢりぢりのたぬいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

いぢりぢりいぢりぢりいぢりぢり

何く契りてかへて三三の歌

しとがり今れ書の人色はあま

よしとそそひきよめをせし

よしとそそひきよめをせし

あまよき後かへて三三の歌

あまよき後かへて三三の歌

あまよき後かへて三三の歌

あまよき後かへて三三の歌

あまよき後かへて三三の歌

あまよき後かへて三三の歌

あまよき後かへて三三の歌

あまよき後かへて三三の歌

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document fragment.

Handwritten text in cursive script, continuing the previous line.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

Handwritten text in cursive script, including a red mark.

はなはたかきしるべきものなり

うたかたの
まはるるをわきまきしるべきなり

甲
ふむふむ 押はるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

まはるるにまはるるにまはるるなり

書

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the left page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the left page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the left page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the left page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the left page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the left page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the right page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the right page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the right page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the right page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the right page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the right page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a musical notation or a specific dialect, written on the right page.

是とらん...
人らあきく...
てぞ...
まら...
ひよ...
そた...

此本者觀世左邊々々
以章句寫之并加當流
秘密悉令改正者也

干時貞享三
寅年孟春吉辰
寺町通二條上町

寺田 与平次新刊



